



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第180号

2007年8月7日

みなさん、こんにちは。明石公園は今日もセミの大合唱です。

● 「ゆめっこ」による人形劇が上演されました。



人形は舞台から飛び出して
動き回っています

8月5日(日)に企画展の関連イベントとして、ボランティア人形劇サークル「ゆめっこ」による人形劇が催されました。言葉遊びの「どっこいしょ」と、たぬきときつねが勝負する「ばけくらべ」という演目が上演され、二つの演目の合間にはクイズも行われました。

上演後は小さなお子さんが舞台前に集まり、人形に触らせてもらったり、人形の仕組みについて教えてもらったりしました。



上演後、花嫁さんの人形と
お話ができました

● 学生さんの夢の企画展の発表会がありました。

学芸員実習において、学生さんに企画してもらった夢の企画展プラン制作の発表がありました。Aグループはウォーリーが明石に旅行に来るという設定で明石を紹介するもの。Bグループは方言をテーマに、兵庫県各地の言葉や特産物を紹介するもの。Cグループは柿本人麻呂とゆかりの土地を紹介するというもので、各グループがレジユメや模造紙を用意してプレゼンをしました。

それぞれの発表が終わると学芸員から「見どころは何ですか？」等の質問がありました。各グループともにマルチメディアを駆使しており、吉田学芸員は「時代の違いを感じます」と感想。「博物館と娯楽施設の違いとは何か、モノを残すことの意味とは何か、人間にとって文化とは何か、ということを考えてほしい」と締めくくり、5日間の学芸員実習が終わりました。



プレゼン中です

学芸員実習の夢の企画展はプランを立てるところで終わりましたが、数年後に学生さんが学芸員になって、プランが実現される日が来るのが楽しみです。